

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【生活単元学習】

1. 対象（実施を想定する学校・児童生徒の実態の概要）

小学部5年知的学級 男子16人 女子5人 計21人

- ・友達を誘ったり誘いを受けて一緒に遊ぶ姿が見られる元気な集団であり、身体を動かすことが好きで活動に意欲的な児童が多い。
- ・歩行不安定や危険認知の低さがあり、移動や運動に配慮を要する児童がいる。
- ・感覚調整が難しく、過剰反応をしたり、自己刺激を求めたりする児童がいる一方、低反応の児童も複数名いる。
- ・身辺処理においてできることが増えているとともに、言葉やサイン、クレーン、絵カードなどで自分の思いを伝えようとする力が育ってきている。

2. 単元名 「 交流会をしよう ～笑顔がいっぱい 交流会～」 （全11時間 /交流会実施3時間）

3. 単元で育成を目指す資質・能力

|  |   |
|--|---|
| ①知識及び技能  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○友達と楽しみながら簡単なきまりのある遊びをする技能を身に付けている。（生活科 2段階エ遊び）</li> <li>○簡単な係活動などの役割に気付いている。（生活科 2段階カ役割）</li> <li>○身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が物事の内容を表していると感じている。（国語科 1段階ア（ア））</li> <li>○活動で使用する材料などに触れながら、かく、切る、ぬる、はるなどしている。（図工科 1段階Aア（イ））</li> <li>○教師の支援を受けながら、楽しくボールを使ったゲームをする動きを身に付けている。（体育科 2段階Eボールを使った運動やゲーム）</li> </ul> |
| ②思考力，判断力，表現力等  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○友達と関わりをもち、簡単なきまりのある遊びをしようとしている。（生活科 2段階エ遊び）</li> <li>○「聞くこと・話すこと」において、挨拶をしたり、簡単な台詞などを表現したりしている。（国語科 2段階Aエ）</li> </ul>   |
| <p>交流会の準備を通して、自分から何かしらの役割を担おうとしたり、交流会当日に向けて準備が整っていくイメージを深めたりして、責任感や期待感をもって取り組む姿を育んでいく。友達と協力したり、繰り返し学習を積み上げていくことで、自分の得意なことに気付いたり、自信をもって行動したりすることを目指している。そして、交流をすることの楽しさを味わい、仲良く交流することで自分や友達の気持ちについて考えたり、言葉でのやりとりを聞いたり伝えたりしようとすることを目指している。</p> |   |

4. 授業展開【 単元 】

解決したい課題や問い

◎「笑顔がいっぱいになる交流会をするための準備をしよう。」

<毎時の終了時に「笑顔がいっぱいだね」と言葉掛けをし、児童への意識付けを繰り返していく。>

- 1次
- ・「交流」って何？どんなことをするの？どうして交流をするの？
  - ・4年生の時の交流会について思い出してみよう。（振り返りのスライドを見る）
  - ・また会いたいな、来てほしいな。どうしたら会えるのかな？
  - ・手紙を書いてみよう、電話をかけてみよう、PCでメールをしてみよう。

- 2次
- ・交流会の準備をしよう。
  - ・交流校の友達とどんな交流会をしたいかな。
  - ・どちらの気持ちや様子がいいかな。  
 楽しい ⇔ 楽しくない（つまらない） 仲良くする ⇔ ケンカをする  
 嬉しい ⇔ 嬉しくない 友達が好き ⇔ 嫌い  
 笑っている ⇔ 怒っている・泣いている

◎「笑顔がいっぱいになる交流会をするための準備をしよう」

- ・友達の名前を知っているかな。自分の名前を覚えてもらおう。→自己紹介をしよう。
- ・一緒に遊びたいな。→「笑顔ポッチャ」で遊ぼう。→必要な道具を準備しよう。
- ・どんな場所だったら喜んでくれるかな。

→看板（ウェルカムボード）をつくろう。教室飾りを作ろう。

- 3次
- ・交流会の練習をしよう（会の流れを確認しよう）
  - ・同じ場所で、同じセリフ、同じゲームをしてみよう。  
 （交流校の友達がいることを想像できるかな）
  - ・明日は、どんな気持ちで交流校の友達を迎えられるかな。

当日（3日間：特別活動の扱い）

考えるための材料

| <材料A>   | <材料B>  | <材料C>   |
|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度の交流時の写真、手紙、プログラム（活動内容が示されたもの）、カレンダー</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流校の友達からの言葉（メッセージ）</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・空欄のプログラム（予定表）</li> </ul>  |
| 想定される活動   |  |   |
| <p>&lt;A&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真と同じポーズをしたり、動きをしたりする。</li> <li>・昨年の交流の活動内容を思い出し、クイズで使った○×音を表現しようとする。</li> <li>・今日、明日、来週等、その日の予定を考える。</li> </ul> | <p>&lt;B&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メッセージをもらって嬉しいという気持ちになる。</li> <li>・交流校の友達はどんなことが好きなのか、何をしたいのかなと考える。</li> </ul> | <p>&lt;C&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラムの流れを考える。</li> <li>・交流校の友達が楽しいと思える遊びや過ごし方を考える。</li> <li>・必要な係（役割）があることに気付く。</li> </ul> |

### 対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

- ・導入では、学年全体でどうしたら交流ができるのか、どうしたら交流校の友達が学校に来てくれるのかを考える。昨年の交流の様子がわかるもの（写真、映像等）や学校から交流校までの地図を手掛かりにして考えた児童の意見や思いを、可視化して共有できるようにする。（主に1次）  
「また手紙を書きたいな。」「なんて書けばいいかな。」「また来てねって書くよ。」「月曜日にきてほしい。」「歩いて来るのかな。バスで来るのかな。」「何時に来るかな。」「カレンダーに○を付けたい。」
- ・交流会の準備を進めていく学習では、3～4の活動を1グループ4人～6人で構成し、各グループの活動内容について考えていく。司会・進行グループ、ゲームの準備グループ、教室飾りグループ、等に分かれて、準備を進めていく。（主に2次、3次）  
「1番（プログラムの順番）は、あいさつかな。2番は何にしようかな。」「大きな声で頑張ります。」  
「どの紙に得点を書けばいいかな。」「この色で立つ場所の印をぬりたいな。」  
「教室のドアに飾りたいな。」「セロテープで貼ったら落ちないかな。」「この場所で見えるかな。」

### 学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

- ・交流日に向けて、カレンダーを活用しながら見通しをもって準備を進めていくことができた。徐々に近づいて来る当日に期待感をもち、交流校の友達と一緒に過ごす時間を想像しながら学習に取り組むことができた。（知識及び技能）  
  
仲良く交流会を行うには、自分たちが楽しいと思える活動があること、相手を思いやる、相手のことを考えること、笑顔でいること等に気付き、本単元の課題や問いに答えることができた。（思考力、判断力、表現力等）  
  
「準備ができました。」「楽しいゲームだから一緒にやりたいな。」「早く来てほしいな。」「仲良く交流ができるよ。」「この飾りを見てほしいな。」「交流校の友達はどんな気持ちかな。何て言ってくれるかな。」
- ・事後学習では、「また交流をやりたいな」「また交流校の友達に会いたいな」という気持ちを抱くと共に、「友達をもっと増やしたい」「他にも学校があるのかな」と視野を広め、校外や地域社会へと興味関心をもち、関わりを深めていきたい。